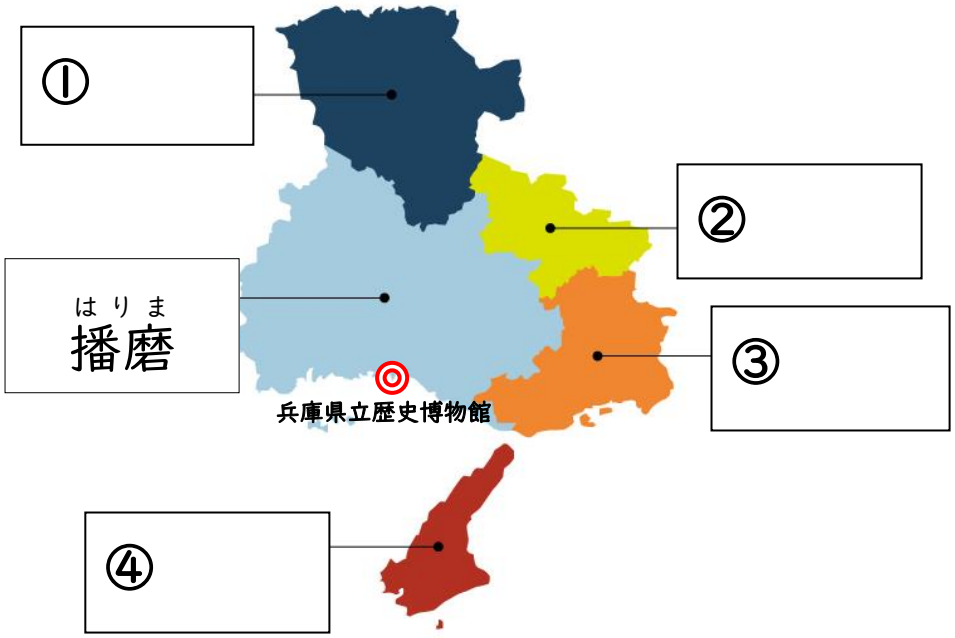
Q１　【はじめに】

兵庫県は五つの国からできています（「ひょうご五国」）。
①～④の国の名前を、右のア～エから選びましょう。



ア　淡路

イ　但馬

ウ　摂津

エ　丹波

Q２　【美術とくらし／ライブラリー（１階）】

兵庫県には、姫路城以外にも国宝があります。
下の写真の中から、国宝に指定されている寺院の特徴を見つけて、
写真と名前を線で結びましょう。

①



②



③



④



※矢印の方向から中をのぞいてみてね！

ア　朝光寺 本堂
（加東市）
人々がお参りする場所が広く明るくつくられています。

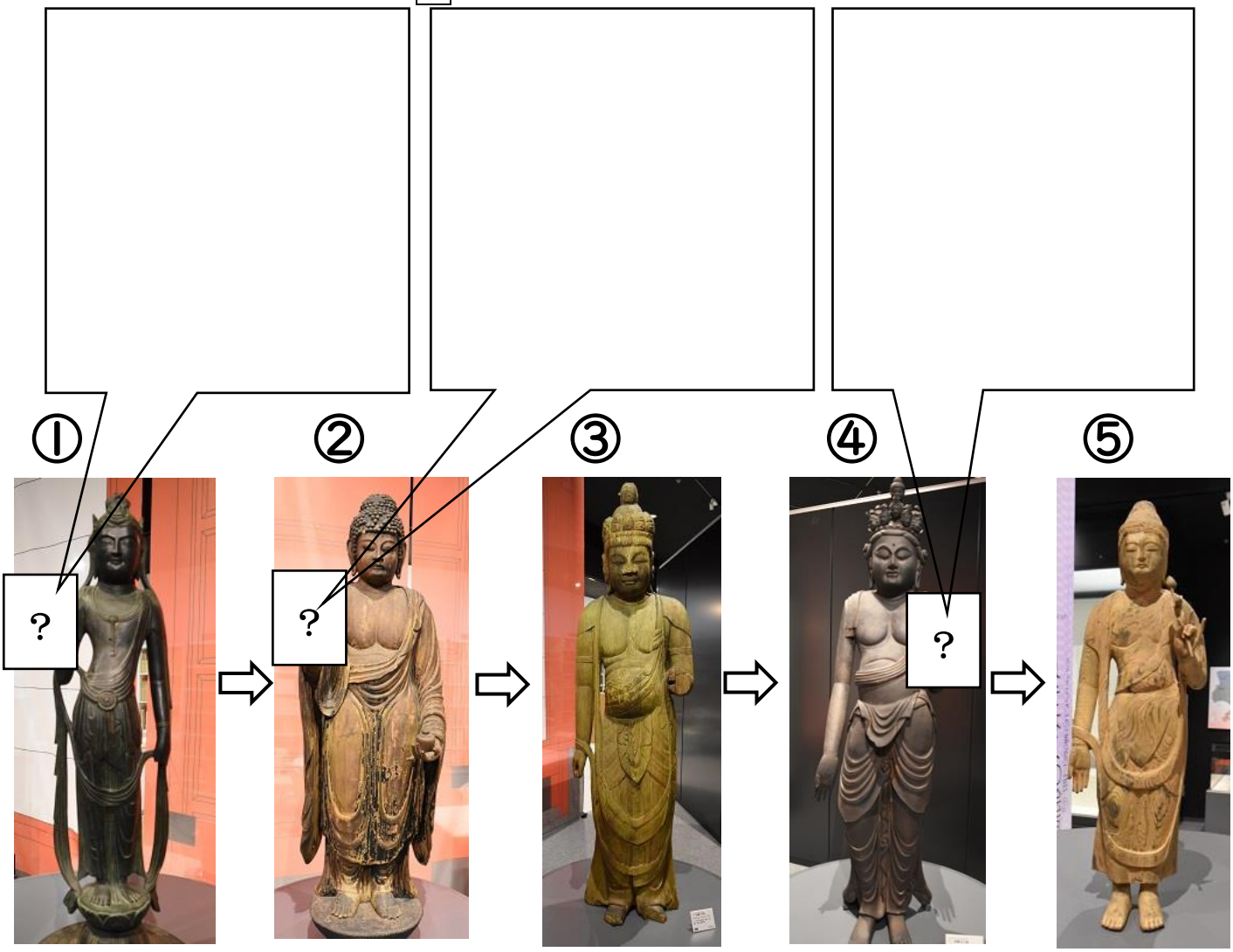
イ　鶴林寺 太子堂
（加古川市）
県内で一番古い木造建築で屋根は檜皮葺です。

ウ　一乗寺 三重塔
（加西市）
全国で五番目に古い三重塔です。

エ　浄土寺 浄土堂
（小野市）
少ない木材で内部が広々しています。
東側からのぞくと仏像に後光が差しているように見えます。

Q３　「ＢＴＺ５（仏像ファイブ）」について

仏像①、②、④の？の手の形をスケッチしてみましょう。



Q４　①この道具の名前を書きましょう。

②どのように使われていたか、想像して書きましょう。



①道具の名前

②使い方

Q5 昔の道具について

（1）それぞれの道具の名前を書きましょう。

①



②



③



④



（2）上の④について、今、自分たちが使っている道具と比(くら)べて、どこが違うか書きましょう。

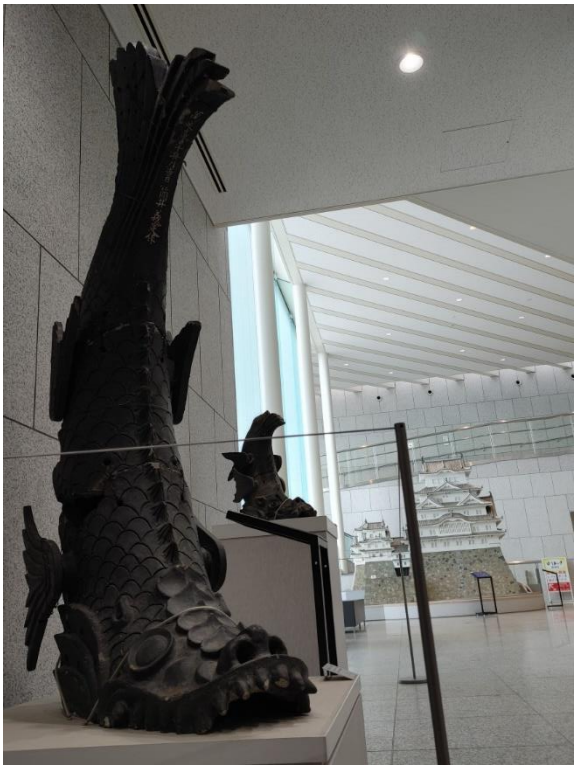
（メモ）



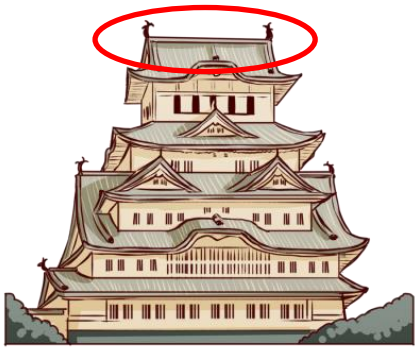
Q6　【ロビー（１階）】「鯱瓦（しゃちがわら）」について

（１）姫路城の屋根（やね）には鯱瓦（しゃちがわら）が展示されています。

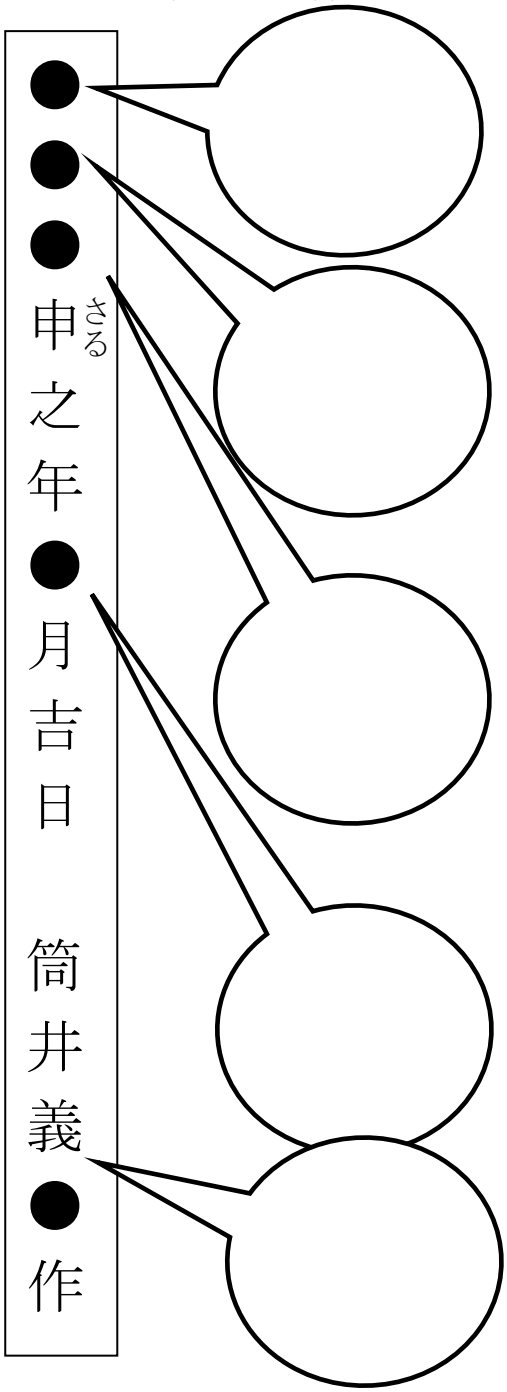
ロビーの一番大きな鯱瓦に刻（きざ）まれている文字を下の〇に書きましょう。



万延元年（１８６０年）の鯱瓦



鯱瓦に刻んである文字



（２）達人問題

また、この文字からどんなことがわかりますか。考えてみましょう。

・鯱瓦に刻（きざ）まれた文字から

がわかる。

（３）ロビーにある姫路城の模型を見てみましょう。
大天守には鯱瓦がいくつあるか数えてみましょう。



↑ 大天守

鯱瓦の数

［　　］個

※いろんな角度から見てみましょう

※２個だけじゃないよ！

Q7 【ひょうごの祭り（２階）】について

下の写真は播磨地域の「だんじり」と「屋台」です。
どちらが「だんじり」で、どちらが「屋台」でしょうか。
名前を書きましょう。

①



※人がかつぐ

［　　］

②



※車輪付き

［　　］

Q8 「築城のようす」について

お城の石垣を造るためには、たくさんの石が必要でした。
機械がない時代に、石をどのようにして運んだのでしょうか。
展示をよく見て、石の大きさによって、それぞれどんな方法で運んでいたか考え、正しいものを２つ線で結びましょう。



①大きな石　　②中くらいや小さな石

- トラックやクレーン車を使って運んだ。
- 地車にのせて運んだり、石持棒に石をぶら下げて運んだりした。
- 修羅と呼ばれる木のソリにのせ、丸太や海藻ですべらせながら大勢で運んだ。
- キャッチボールをしながら投げて運んだ。

※間違えている選択肢があります。

Q9 ①1638年（寛永15年）に再建された写真のお城の名前を書きましょう。
②また、このお城は当時、どこにあったのでしょうか。



①お城の名前

［　　］城

②このお城はどこにあったのか。

今の地名で答えましょう。

［　　］

Q10 【日本の城大百科（２階)】　「現存12天守」について

日本の城の天守のうち、江戸時代の姿を現在まで伝えている12の天守を「現存12天守」と呼びます。

「現存12天守」のうち、
自分が気に入ったお城の名前を２つ書きましょう。
また、気に入った特徴（見所）も書いてみましょう。



気に入ったお城の名前	気に入ったお城の特徴（見所）
城	
城	

Q11 達人問題

中世(ちゅうせい)には山城(やまじろ)が多くありましたが、近世(きんせい)には平山城(ひらやまじろ)や平城(ひらじろ)が多くなりました。なぜでしょうか。



【ヒント】

城の役目(やくめ)は、時代とともに変わっていくよ。

解答はこちら　↓

2026.11 改訂